

大腸癌（進行・再発） 1st, 2nd Line mFOLFOX6+Cetuximab療法(導入) (トレフューザーポンプ)

() クール目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール： 1コース14日
使用基準： class A (2回目以降class B)
 基本的にEGFR陽性、RAS遺伝子野生型の患者に限る
 ※ **投与中・投与終了後少なくとも1時間**はVital signsのチェック (Monitor 装着を推奨)
 ※ **Infusion reaction**に要注意
 重度のInfusion reaction(気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識障害、ショック、心筋梗塞、心停止)の発現の報告が**初回投与**又は**投与終了後1時間以内**に多いが、**投与数時間後**又は**2回目以降**の投与でも発現することがある。
 ※ 血清マグネシウム値のモニターを定期的 (月1回程度) に行うこと。
 ※ 皮膚症状には早期から積極的な対応を行うこと。

《 使用薬剤 》

オキサリプラチン (L-OHP) : オキサリプラチン 50mg/10mL/V、100mg/20mL/V
 レボホリナート (I-LV) : (レボホリナート) 25mg、100mg/V
 フルオロウラシル : フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)
 セツキシマブ (GET) : (セツキシマブ) 100mg/20mL/V

投与量：

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m ²	#VALUE!		1
レボホリナート	200 mg/m ²	#VALUE!		1
フルオウラシル(急速)	400 mg/m ²	#VALUE!		1
フルオウラシル(持続)	2400 mg/m ²	#VALUE!		1
セツキシマブ	400 mg/m ²	#VALUE!		1
	250 mg/m ²	#VALUE!		8

<< タイムスケジュール：治療開始時刻を0:00とします。 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1	1月1日 (金)			
	0時00分	①	生理食塩液50mL+ポララミン 1A+デキサート 13.2mg 15分で点滴静注	
	0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	
	0時45分	③	生理食塩液 500mL + セツキシマブ mg 2時間で点滴静注	0.0mL
	2時45分	④	生理食塩液 250mL 1時間で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)	
	3時45分	⑤	生理食塩液50mL+グラニセトロン 1A 15分で静注	
	4時00分	⑥	5%ブドウ糖液 250mL + オキサリプラチン注 mg ⑦と同時に2時間で点滴静注	0.0mL
		⑦	5%ブドウ糖液 250mL + レボホリナート注 mg 側管から⑥と同時に2時間で点滴静注	
	6時00分	⑧	生理食塩液 40mL + フルオロウラシル注 mg 全開 (15分以内) で急速静注	0.00 mL
	6時15分	⑨	生理食塩液 50mL フラッシュ (終了後材料 除去)	
	6時20分	⑩	生理食塩液 140 mL + フルオロウラシル注 mg トレフューザーポンプにて46時間持続投与	0.00 mL
day3	1月3日 (日)	4:00 頃	点滴終了後、ヘパフラッシュを注入し、抜針する	
day8	1月8日 (金)			
	0時00分	①	生理食塩液50mL+ポララミン 1A+デキサート 6.6mg 15分で投与	
	0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で投与	
	0時45分	③	生理食塩液 250mL + セツキシマブ mg 1時間で点滴静注	0.0mL
	1時45分	④	生理食塩液 250mL 1時間で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)	

REFERENCE

Carsten Bokemeyer, Igor Bondarenko, Anatoly et al: J Clin Oncol 27: 663-671, 2008
 Fluorouracil, leucovorin, and oxaliplatin with and without cetuximab in the first-line treatment of metastatic colorectal cancer
 2011年8月度化学療法プロトコール審査委員会承認：2011年8月8日 更新：2017年6月1日